

平成26年度

事業報告並びに決算書

社会福祉法人牧之原市社会福祉協議会

【1】概況

長引く景気低迷や急激な超高齢社会への対応等、社協の取り組む事業は年々重要性が増している。その中で、景気低迷に伴い生活困窮者の増加は本市においても例外ではなく、生活福祉資金の貸し付けや行政の生活保護担当と連携するケースが増えている。こうした中、平成27年4月に施行される生活困窮者自立支援法に向けた活動として新設した相談支援係が、民生委員児童委員と連携を取り市民に密着した相談支援体制を執ってきた。

また、平成26年度は第2次地域福祉活動計画がスタートし、行政と共に牧之原市の福祉の充実に努めるよう、第1次地域福祉活動計画の理念を引き継ぎ「ふれあいを大切にしたい生涯安心して暮らすことのできるまちづくり」の実現に向け事業展開してきた。

平成23年3月に発生した東日本大震災後、今後起こり得る災害に備え災害ボランティアセンター立ち上げに向けた話し合いを市防災課、危機管理課、社会福祉課、災害ボランティアコーディネーターの方たちと社協とが一緒になって検討会を実施してきた。また、職員も立ち上げ訓練を実施し平時から常に準備している。

平成29年度に大幅改正のある介護保険法について、市高齢者福祉課や健康推進課との話し合いを重ねてきた。市の福祉のあり方などを共通理解し、来年度からの2年間に地域包括ケアシステムの土台作り、事業の見直し、区や町内会に密着したニーズ調査及び取り組みについて、今後も検討していくこととした。

在宅福祉事業として、介護保険法改正の動向を見ながら、利用者本位のサービス実施に努める中で安心安全なサービスと経費削減を基本にサービスの質の向上や利用者の安全確保に努めるとともに、事業の見直しを行いながら地域に密着した事業展開を行い、常に職員のスキルの向上を図り、効率的な事業運営を行った。

本会が市民から信頼され必要とされる団体として存続していくために、役員及び全職員が目的の達成に向けて引き続き地域との連携を強化していきたい。

【2】主要事業

1. 安心して暮らすことができるまちづくり

(1) 相談窓口の充実

悩みごとや心配ごとを持つ方が気軽に相談できる窓口を設置し、総合相談及び援助活動を行った。

種類	開設日	場所	相談活動の内容
福祉総合相談	月～金曜日 (8:15～17:00)	相良総合センターい～ら	社会福祉協議会の職員が、様々な福祉の相談(ボランティア・介護・サロン活動など)にあたった。
	月～金曜日 (8:15～17:00)	老人福祉センター	
心配ごと相談	毎月第2水曜日 (9:00～11:30)	市民相談センター	市民からの多数な相談に対応するため、民生委員児童委員と司法書士が相談にあたった。 ●主な内容 財産、離婚
	毎月第4水曜日 (9:00～11:30)		
法律相談	毎月第1水曜日 (10:00～15:00)	市民相談センター	市民や他市町から多様な相談に対応しています。弁護士、人権擁護委員、行政相談員が相談にあたった。 ●主な内容 財産、離婚、人権・法律
	毎月第3水曜日 (10:00～15:00)		

【福祉総合相談】

相談件数 811件(※相談内容は重複有)

受付方法	電話	来所	訪問	会議			計
	384	184	212	31			
相談者	一般	二次予防	要支援者	要介護者	障害者	その他	
高齢者	82	222	55	115	20	0	494
60～64歳	70		2	2	13	0	87
59歳未満	169		0	4	57	0	230
相談内容	介護問題	医療疾患	施設病院	心理的問題	経済的問題	生活問題	
	40	24	23	93	361	653	1,194

【心配ごと・法律相談】

開設日数 及び延数	相談事項と件数																			
	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・衛生	医療	精神衛生	人権・法律	財産	事故	児童福祉・母子保健	教育・青少年	障がい児者福祉	母子・父子福祉	老人福祉	苦情	その他
開設日数 心配 24日 法律 24日 延べ件数 心配 61件 法律180件 計 241件																				
心配ごと相談件数	5	1	0	3	6	0	12	0	1	1	2	27	0	0	0	0	0	0	0	3
法律相談件数	8	0	5	9	8	1	46	0	1	0	32	50	8	0	1	0	0	0	4	7
合計	13	1	5	12	14	1	58	0	2	1	34	77	8	0	1	0	0	0	4	10

【結婚相談】

実施日	会場	相談活動の内容
7月18日(金) 18時30分～21時	静波スウィングビーチ	20歳代から30歳代の独身男女。今回参加条件として2名から3名のグループとして募集し、男性11名女性11名の参加があった。会場のビーチサイドで各グループでバーベキューを楽しみ、参加者同士のつながりがあるため和やかな雰囲気で行った。2組のカップルが成立した。

★評価

結婚相談について初めてグループ申し込みを行った。知り合いがいると話しやすいのか、うち解ける時間がいつも以上に短かった。昨年度の消防団との出会いパーティーの評価を生かせたと思う。また、バーベキューということもあり、男性陣が焼いたり取り分けたりと、積極性が見られたことは、次回以降に生かせる。結果2組のカップルが成立した。

平成27年4月に施行される生活困窮者自立支援事業に向け新設した相談支援係が市民に密着した相談支援体制を執り、1,000件近い相談を受けたことで、現在、牧之原市が抱えている問題が顕著になってきた。

相談支援係が出来るまでは地域包括支援センターが59歳以下の方の経済問題に対応していた。1年間、地域包括支援センターと連携して相談対応してきたことで、市民にとって相談する場所が増えたことは良かったと思う。また、相談内容の棲み分けも進んできている。また、障害者手帳の取得までには至らない方や、契約者や緊急連絡先になり得る親族が無く、判断能力が低下してきている方が数多く地域に潜在化している状況も確認した。

★課題

心配ごと相談、法律相談から社協として関わるべき課題を見極め、関係機関や地域の関係者と連携を取りながら対応していきたい。

結婚相談については、出会いの場の提供のため、その後つきあったのかなどが不明である。商工会や農協でも同じような企画を行っている中、社協として行うことについて検討する必要性を感じる。

生活困窮者の相談対応を主として多問題世帯及び制度の狭間にいる方への支援や、成年後見制度をはじめとする権利擁護に関する相談を受けていける体制づくりを進めていく必要性を感じている。

(2)災害時要援護者(避難行動要支援者)対策の充実

①ネットワーク活動

東日本大震災や西伊豆町の集中豪雨による水害を踏まえ、災害時に社協職員が迅速に対応できるよう、社協職員による内部研修会で災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練を実施し、現状の防災体制や今後に向けた改善点などの協議を行った。

【9月1日】相良総合センターい〜ら 47人(災ボラ4人含む)

【3月19日】老人福祉センター龍眼荘 39人(災ボラ3人含む)

②静岡県総合防災訓練 富士山静岡空港において災害ボランティア参集並びに災害ボランティアセンター訓練

駿河トラフ、南海トラフ巨大地震の発生から1週間が経過したと仮定し、静岡空港を利用して入ってくると考えられるボランティアを受け入れるためのボランティアセンター設置について、共通理解を図った。

【8月31日】富士山静岡空港2階多目的会議室 8名(災ボラ4人含む)

③4市2町災害ボランティア連絡会

志太榛原地区4市2町の社協災害担当者及び災害ボランティアコーディネーターによる連絡会を中部危機管理局職員をオブザーバーとして招き実施した。当連絡会は各市町間の支援体制を築くことを目的に実施し、それぞれの活動状況やボランティアセンターの運営方法等の情報共有をすることができた。

【1月17日】相良総合センターい〜ら 19人

④静岡県災害ボランティア図上訓練への参加

災害時には多用な課題が地域の中で大量に出現することになり、社協は地域のネットワークを総動員で支援活動を行う必要がある。このため他機関と協働して災害ボランティアセンターを設置し、災害ボランティア活動を展開する必要性を、県域で訓練を行った。

【3月7.8日】静岡市民文化会館 4人(災ボラ2人含む)

⑤災害ボランティアコーディネーターの育成・充実・連携

災害ボランティアコーディネーター養成講座修了者と災害ボランティアに関心がある市内在住者21名が会員となり、相良総合センターい〜らを会場に毎月第1水曜日に定例会、第4水曜日に役員会を開催した。定例会等では、災害時のマニュアルの検討や本部運営に関する協議などを行った。また、行政関係課や榛南JC等の関係機関と連絡会を実施し、情報交換を行った。

【定例会】

4月9日 牧之原市災害ボランティアセンター総会 17人

5月7日 防災クロスロードゲーム、平成26年度年間活動計画について 7人

6月4日 クロスロードゲームの実施、関係機関との連絡会について、災害ボランティア養成講座について 8人

- 7月2日 災害ボランティアセンター立上訓練の実施、災害ボランティア認識講座の実施について 7人
- 8月2日 牧之原市災害ボランティア認識講座の実施 80人(各区役員参加)
- 8月6日 災害ボランティア認識講座の実施結果と今後の反映、ふれあい広場の参加計画
神戸大生の受け入れについて 6人
- 8月31日 静岡県総合防災訓練への参加 8人
- 9月3日 神戸大学生との意見交換会 15人
- 10月5日 ふれあい広場、行政との意見交換について 7人
- 11月5日 災ボラセンターに必要な資器材、第3回災ボラ連絡会議の開催について 8人
- 11月15日 中部VC連絡会 1人
- 11月19日 災害時のトイレ問題・し尿処理研究会 1人
- 1月7日 4市2町VC連絡会議、市政10周年記念事業について 7人
- 1月11日 災害ボランティア情報渉外センター運営訓練参加 2人
- 1月17日 4市2町VC連絡会 5人
- 3月4日 市政施行10周年記念事業への応募、平成27年度総会、ボラセン立上訓練について 7人
- 3月7・8日 静岡県内外災害ボランティアによる救済活動のための図上訓練への参加 2人
- 3月19日 社会福祉協議会職員研修会(サテライト型図上訓練)への参加 3人

【関係機関との連絡会】

- 6月11日 災害時ボランティア設置に伴う体制・支援、ボランティア受入体制及び受入場所・施設
ボランティア活動に必要な情報提供及び各種資器材の提供・配備、ボランティアに対する
ニーズの把握及び必要により第一線活動拠点の設置、自主防災会へのボランティア
の必要性理解と協力 11人
- 9月24日 牧之原市災害時ボランティア受入マニュアルの見直し、災害ボランティア認識講座アンケート結果
及び課題、ボランティア受入体制及び受入場所・施設、ボランティア活動に必要な情報提供
及び各種資器材の提供・配備 8人
- 12月10日 災害ボランティアセンターの立上条件、災害ボランティアの受入場所、災害ボランティアセンターに
必要な資器材、災害ボランティアコーディネーター養成講座の開講について 10人
- 2月16日 災害ボランティアセンターの立上条件、災害ボランティアの受入場所、災害ボランティアセンターに
必要な資器材、災害時トイレ計画について 16人

⑥災害ボランティア交流

神戸大学から災害ボランティアサークル「震災救援隊」が牧之原市災害ボランティアコーディネーターとの交流を目的に牧之原市へ訪問に来た。初日は親睦を兼ねた交流会を行った。2日目はグループワーク形式で、災害について話し合いを行った。

【9月3日・4日】神戸大学生・静岡大学生・牧之原市災害VC。他 20人

★評価

牧之原市災害ボランティアコーディネーターの会議に毎月参加し、意見交換することで連携が図れている。新たに行政関係課や榛南JCとの連絡会を実施することにより災害ボランティアセンター運営に関する役割分担や情報共有をすることが出来た。

立ち上げ訓練の前に災害時に起こりえる状況を想定した「クロスロードゲーム」を行った。また、立ち上げ訓練では、災害ボランティアコーディネーターと顔の見える関係作りと連携を行った。

★課題

牧之原市災害ボランティアコーディネーターへの新規の参加者が無いことや、会議への参加者が限られてきており、連絡会の在り方について検討する必要がある。また、大規模災害を想定した訓練及び会議を行っているが、風水害時の訓練を行っていないため、訓練が偏らないようにしたい。

災害ボランティアセンター運営の細かいマニュアル調整が必要。災害支援活動を経験している職員が少ないため、今後積極的な支援活動への参加が求められる。

(3)福祉の担い手の確保・活動の充実

①サロン協力員の育成・充実(2回)

サロン協力者、民生委員児童委員、またはボランティアに興味がある方を対象に、講習会を開催し新しい取り組みの補助や、情報提供、情報交換を行った。

- 【7月22日】 相良総合センターい〜ら 参加者54人
ミニ講話 ～改めまして! 社会福祉協議会です～
夏におすすめ♪レクリエーションの紹介
- 【9月2日】 相良総合センターい〜ら 参加者35人
ミニ講話 ～私たちの心と身体の変化について～
秋におすすめ♪レクリエーションの紹介
- 【11月15日】 相良総合センターい〜ら 参加者37人
ミニ講話 ～知ってる!? 私たちのちいきのこと～
冬におすすめ♪レクリエーションの紹介
- 【1月13日】 相良総合センターい〜ら 参加者35人
ミニ講話 ～サロンは元気発信地!～
春におすすめ♪レクリエーションの紹介

②サマーショートボランティアの充実

今年で33回目となったこの事業。県ボランティア協会と榛南地区が主催となって、市内の21福祉施設で、78人の中・高校生等が連続4日以上ボランティア活動を行った。

【活動期間】 8月1日～8月30日

③親子ボランティア体験の実施

夏休みを利用して、親子でボランティア体験をすることを目的に親子ボランティア体験を開催した。

- 【8月4日】 第2こづつみ作業所 参加者 2組の親子
【8月7日】 ワークセンターやまばと 参加者 1組の親子

④ボランティア茶ロンの実施

ボランティア活動をしている方及びボランティア活動に興味がある方を対象に、情報の提供や地域の方々の交流の場として提供する。

【7月1日】 生き生きセンター 参加者17人

⑤ボランティア連絡会

相良地区、榛原地区にそれぞれボランティア連絡会が存在したが、合併し1つのボランティア連絡会を設立。相良地区については、個人登録方式を生かし、市民ニーズに応えた部会をつくり現在7部会が活動している。また、榛原地区は、グループ登録を中心に、連絡会を各グループの代表が集まり会を運営している。2カ月に1回相良地区、榛原地区が集まり情報交換及び行事計画も行った。

個人登録 登録実人員 38人 延べ登録人数 44人

No.	部 会 名	人数	主な活動場所	活 動 内 容
1	作業部会	12	こづつみ作業所	陶器の転写紙貼り、下請け部品組立作業手伝い・各行事への協力
			第2こづつみ作業所	下請け部品組立作業手伝い・各行事への協力
2	介助部会	1	つくしの家・つくしホーム	パターンニングの手伝い・各行事への協力、圏外療育(主に散歩)の手伝い・各行時への協力
3	幼児部会	1	い〜ら他	のびのび子育て井戸端会議への協力
4	在宅部会	5	自宅	ひとり暮らし高齢者給食サービスに添える折り紙制作
5	調理部会	11	保健センター い〜ら	毎月2回のひとり暮らし高齢者給食サービスの調理
6	配食部会	11	市内	ひとり暮らし高齢者及び民生委員宅への給食サービスの配食
7	社協部会	3	い〜ら・市内	ふれあい食事会への協力・相良デイサービスセンターへの協力

グループ登録 15グループ 会員数 382人

No.	グループ名	人数	主な活動場所	活 動 内 容
1	オムレツくらぶ	20	さざんか	給食サービス事業の調理ボランティア
2	音訳サークルやまびこ	6	さざんか	目の不自由な方へ、市の広報誌をテープへ吹き込む
3	手話サークル“フレンド”	15	さざんか	手話を覚える、ろうあ者との交流
4	かえでグループ	5	市内	高齢者健康サポート(サロン活動、高齢者の話相手)
5	運転サービスグループ「どこでもカー」	14	市内	障害者の外出支援
6	生きがいリーダー連絡協議会	52	市内	介護予防を展開する中で、地域のよりよい健康、生きがい、地域づくりの推進を図る
7	牧之原市まちづくり実行隊	12	市内	おやじの会による親子ふれあい活動、勝間田川流域の環境保全活動、障害者福祉活動サポートの実施
8	茶っこクラブ	13	市内	健康づくり活動、花の会活動、手芸活動
9	ハーモニア渚	7	市内・御前崎市	老健施設でのハーモニア演奏
10	榛三会	9	御前崎市 吉田町他	老人施設での三味線、踊りなどの披露
11	静波一丁目消防奉仕隊	22	地内	一丁目内の消防施設消火栓点検など
12	すまいる	6	市内	レクリエーション他
13	一丁目龍友会	68	市内	龍眼山等の清掃活動
14	花の会	118	市内	市内の花壇への植栽、手入れ 花やみどりの講座の開催
15	おはなしクラブ	15	市内	市内小学校での読み聞かせ、朗読劇等の企画上演、おはなし会等の開催、児童クラブ催し物等への協力

⑥ボランティア活動への支援

ボランティア活動を活発化させるため、社協にボランティアコーディネーターを配置し、ボランティア連絡会を中心とした活動の活発化を図った。

★評価

ボランティア連絡会が主になり、ふれあい運動会(P13)やボランティア交流会の開催を継続できている。また、ボランティア養成講座では大勢の参加があり、その後数人ではあるがボランティア連絡会への加入へ繋げることが出来た。

ボランティア活動者には情報発信や活動者同士の交流ができ、また、参加者が地域にある施設を知るきっかけづくりにもなった。親子参加の事業では施設だけでなく、障害者理解やコミュニケーションの取り方なども学ぶことができた。

★課題

ボランティア活動者及びボランティアグループの確保。新規ボランティアの確保。また、介護保険法改正を踏まえボランティアや連絡会の在り方などを検討していきたい。

事業の周知及び地域に帰ってからのボランティア活動へのアプローチの検討が必要。また、サマーショートボランティアについては県ボランティア協会も主催となる共同開催だが、社協は福祉施設や中学生などにボランティアの必要性や重要性を伝えるアウトリーチが主であって、共同主催しなくても県ボランティア協会が運営してくれるのであれば、事業のあり方を検討する必要性を感じている。

(4)各種福祉サービスの利用支援

①生き生き塾の開催

市内の概ね60歳以上の方を対象に、高齢者の生きがいや潤いのある生活づくりの手助けをすることを目的として、講演や実技などを実施した。今年度は前期を75歳以下の方とし、後期を76歳以上の方を対象として開催した。

- | | | |
|----------|-----------------------------|--------|
| 【6月24日】 | 相良総合センターい〜ら | 参加者19名 |
| | かわいいお花がいっぱい ~押し花教室~ | |
| 【7月24日】 | 相良総合センターい〜ら | 参加者15名 |
| | 心身共に若返り ~体操とお顔のマッサージ~ | |
| 【8月21日】 | 相良総合センターい〜ら | 参加者17名 |
| | まぶしい夏を演出しよう ~ちっちゃい観葉植物寄せ植え~ | |
| 【10月28日】 | アクティ森 | 参加者15名 |
| | 秋のお出かけ ~そば作り体験~ | |
| 【11月28日】 | 相良総合センターい〜ら | 参加者18名 |
| | 健康に暮らそう ~椅子に座って体操~ | |
| 【12月17日】 | 相良総合センターい〜ら | 参加者16名 |
| | 素敵なクリスマスを過ごそう ~丸よつただみのリース~ | |

★評価

毎回多くの方が参加してくれた。各教室が楽しいという方の中に、他の参加者との交流も含まれており、このように趣味活動の場の必要性を多く感じた。

★課題

今回初めてい〜らを会場に行ったが、榛原地区の参加者に対し送迎を行わなければならない、地域別に行くことや年度毎変えるなどの対策が必要と感じた。

(5) 情報提供の充実

①社協広報紙「ふくしだより」の発行(12回)

福祉意識の啓発と社協の活動を市民に理解してもらうため、A4版4面の「ふくしだより」を毎月15日(土日祝日は前となる)に、自治会を通じて発行した。

【年間発行部数】 月14,100部(年計169,200部)

②ホームページの充実

社協事業の報告やイベント情報をホームページに記載し、一般市民へ提供した。また、ホームページについては、多くの人に見てもらえるような内容としたいため大幅な変更を行った。

【アドレス】<http://www.makinohara-shakyo.jp>

③ボランティア情報紙の発行

市民のボランティアに対する意識を高めることと、ボランティア人口の増加を考え、新聞折込によるボランティア情報紙の発行を行った。

④サロン通信の発行

高齢者等が地域の居場所として集まる場所を提供しているサロンについて、市民に知ってもらう機会として、サロン通信を全戸配付した。

⑤サロン啓発パンフレット

牧之原市内でサロンを始めたい方や内容を知りたい方へ、「あなたも、はじめませんか？ふれあい・いきいきサロン」を作成し、い〜ら窓口に置き啓発した。

★評価

課題であったホームページをリニューアルした。以前に比べ格段に見やすくなった。他市の一般企業から、ホームページを見てボランティアグループの活動に興味を持ち、問い合わせてきたことがあった。ホームページの重要性を改めて確認した。

広報紙については、毎月カラーで発行している。なるべく文字数を減らして見やすいことを心がけている。また地域で活躍する団体や個人が行っている地域福祉活動をふくしだよりで取り上げることにより、活動への意欲をさらに高めることができた。

また、近年発行していなかったボランティア情報紙とサロン通信を全戸配付した。情報紙を見た方からボランティアをしたい。という声があり、今後も継続して情報を提供していきたいと考えている。

★課題

報告紙ではなく、情報紙になるようにアウトリーチし情報を集めるようにしたい。また、ホームページについては写真の更新など、見た目を変えるなどして何度見ても飽きないようにしたい。

(6) 生活環境の整備の充実

①福祉車両貸出事業

【相良事務所】

マイクロバス(29人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
回数	17	16	11	12	6	8	
延べ人数	382	349	179	205	120	134	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	21	18	14	11	8	11	153
延べ人数	389	420	281	191	216	213	3,079

キャラバン(福祉車両:リフト車・6人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	0	0	0	0	0	0	
延べ人数	0	0	0	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	0	0	0	0	0	1	1
延べ人数	0	0	0	0	0	1	1

ワゴンR(福祉車両:スロープ車・3人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	5	8	5	7	7	6	
延べ人数	10	12	5	9	7	7	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	6	4	5	6	6	8	73
延べ人数	7	5	7	7	6	8	90

デミオ(福祉車両:スロープ車・3または4人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	6	6	6	5	7	5	
延べ人数	8	18	10	15	13	18	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	5	6	4	7	7	6	70
延べ人数	9	12	11	18	15	20	167

〔榛原事務所〕

ハイエース(10人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	2	2	1	1	1	2	
延べ人数	18	12	7	6	7	15	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	4	3	4	0	4	3	27
延べ人数	36	21	20	0	20	16	178

ハイエース(福祉車両:10人乗り)※上記と同じ車両。福祉車両として使用した数字。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	2	1	1	2	0	1	
延べ人数	2	1	1	2	0	1	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	0	0	1	0	0	2	10
延べ人数	0	0	1	0	0	2	10

ファンカーゴ(福祉車両:5人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	11	10	11	9	10	8	
延べ人数	65	53	62	61	54	41	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	8	8	6	7	8	12	108
延べ人数	55	47	50	47	50	50	635

AZワゴン(福祉車輛:スロープ車・3または4人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	9	9	7	11	6	8	
延べ人数	9	13	8	14	9	11	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	11	9	9	4	7	9	99
延べ人数	11	10	11	4	10	11	121

②心身障がい児(者)通園費補助事業

牧之原市内に居住し、心身障がい児(者)施設へ通う在宅心身障がい児(者)へ、1ヶ月1,000円の施設通園(所)費補助を行った。

【前期】 136人(717,000円) 【後期】 123人(699,000円)

③ひとりぐらし高齢者給食サービス

相良地区(19回)

70歳以上の見守り等の支援が必要と思われる、ひとりぐらし高齢者及び高齢者世帯48人を対象に、200円の利用料で月2回ボランティア連絡会の調理部会が作ったお弁当を、民生委員児童委員が高齢者宅へ配食した。8・9月は食中毒心配のため休止した。

【配布した弁当の延べ食数】 937食

榛原地区(19回)

70歳以上の見守り等の支援が必要と思われる、ひとりぐらし高齢者及び高齢者世帯34人を対象に、200円の利用料で月2回ボランティアグループ“オムレツくらぶ”が作った弁当を配食ボランティアが高齢者宅へ配食した。8・9月は食中毒心配のため休止したが、暑中見舞いもかねて利用者のお宅を訪問した。

【配布した弁当の延べ食数】 493食

④ひとりぐらし高齢者ふれあい食事会

相良地区(2回)

70歳以上のひとりぐらし高齢者を対象に、会食方式の食事会を実施し、参加者同士やボランティアとの交流により楽しい時間を過ごした。

【第1回／6月30日】相良総合センターい～ら 29人

内容:笑座・楽し舞歌♪～踊り・歌の鑑賞～、七夕飾り作り

【第2回／12月3日】相良総合センターい～ら 27人

内容:生きがいデイあしたか～体操&レクリエーション～

消費者協会～寸劇「訪問販売による布団の押し売り」～

榛原地区(2回)

70歳以上のひとりぐらし高齢者を対象に、ボランティアグループ“オムレツくらぶ”の協力により、会食方式の食事会を実施し、参加者同士やボランティアとの交流により楽しい時間を過ごした。

【第1回／7月7日】総合健康福祉センターさざんか 60人

内容:笑座・楽し舞歌♪～踊り・歌の鑑賞～、七夕飾り作り

【第2回／12月5日】総合健康福祉センターさざんか 77人

内容:生きがいデイあしたか～体操&レクリエーション～

消費者協会～寸劇「訪問販売による布団の押し売り」～

★評価

福祉車輛について、大きな事故もなく、多くの方が使用してくださっている。また、ふれあい食事会は参加者同士や地域の方々との交流ができた。給食サービスは安否見守りができることと、担当民生委員さんとの連携が取れ情報交換ができる。

★課題

福祉車輛の利用が増えれば、社協事業で使用できなくなってくる。法人も2つの新しい事業を受託したので、公用車の増を考えなければならない。また、マイクロバスについては、毎年新しい車輛の導入を言われているので、こちらについても検討していかなければならない。

給食サービス、ふれあい食事会を希望され参加される方は良いが、出てこられない、給食サービスの存在を知らないなどの方を、どう巻き込んでいくかが課題である。また、給食サービスについては、8月9日と食中毒の心配からお休みしているので、この間の見守りをどうしていくのか、検討する必要性を感じる。

(7)次世代への支援の充実

①のびのび子育て井戸端会議の活動

子育て中の母親達の交流の場として、また、子どもに安心して楽しく遊べる場を提供するなど、子育てを支援するために、主任児童委員やボランティアの協力をいただき開催した。

【参加者】193組の親子(延べ414人/大人193人・子ども221人)、中高生ボランティア8人

②児童館まつりに参加

相良児童館、榛原児童館を会場に、子ども達のふれあいや地域との交流を目的に開催された児童館まつりに、社協は模擬店(ポップコーン販売)に参加し収集ボランティア情報の提供をした。

【8月2日】相良児童館まつり 職員3人参加

【8月2日】榛原児童館まつり 職員3人参加

★評価

参加者同士で交流し情報交換し子育てを楽しむ場所となっている。また、同じ子育て中の親子ボランティアや民生児童委員が気軽に声をかけることで育児ストレスの軽減が図れている。少人数のボランティアで読み聞かせや手遊びなどを実施した。来年度からお母さんボランティアが主体となって活動をするよう実施していく。そして、サロンにも声をかけ合同で行うことで、高齢者と交流する機会をつくることができた。

★課題

第1子の親への事業周知及び、サロン化にむけてボランティアの確保が必要。また、親の居場所づくりのあり方や相談機関へのつなげ方について検討が必要だと思う。

2. 活動の輪を広げるまちづくり

(1)地域や学校における福祉教育の推進

①福祉体験学習への支援

市内小・中学校等からの依頼で、講話・車椅子・アイマスク体験等を実施し、福祉に対する理解が深まるようサポートした。

【6月4日・7月9日】相良中学校3年生 163人

【6月5日】勝間田小学校6年生 31人

【6月13日・17日】相良小学校5年生 105人

【10月7日】菅山小学校3、4年生 38人

【11月11日】萩間小学校4年生 22人

【11月27日】勝間田小学校6年生 31人

②障がい者を理解するための講座の実施

夏休みを利用して、親子で障がいについて学ぶと同時に、福祉施設について知っていただくことを目的に、福祉施設と協働で親子福祉体験教室を開催した。

【7月11日】ワークセンターやまばと 参加者6人(3組の親子)

③みんなの描く福祉作品コンクール

福祉の啓蒙を図るため、119人の応募を得て、みんなの描く福祉作品コンクールを開催した。

◇作文の部 応募者 24人

◇図画の部 応募者 95人

④ふくし体験講座の実施

夏休みを利用して、高齢者や障がいがある方の暮らしを体験することで、福祉への理解や自分たちにもできる活動を考えるきっかけ作りを目的としたふくし体験講座を開催した。

【7月31日】 相良総合センター 参加者6人

★評価

福祉作品コンクールについて、今年度はとても多くの参加があった。体験講座では、アイマスクをして路線バスに乗った。視覚障がいの方が地域にいろいろ段差などの怖さがあることが、小学生の感想から出てきたことは良かった。

★課題

福祉教育について、全小中高校からの依頼があるようにしたい。ふくし体験講座は、小学生の陸上大会の予備日と重なってしまい、参加人数が少なかったので榛原地区・相良地区の両地区合同で行った。次回は開催日を注意したい。

(2) ボランティア・地域活動等の参加促進

①エコキャップ運動の推進

ペットボトルキャップのリサイクル活動に参加することによって、環境や貧困など、世界が直面する様々な課題について、学び、考え、行動する機会を提供する活動を行った。

【回収総重量】 348kg(26団体・6個人)

【回収個数】 149,640個

【ワクチン】 174人分

②ふれあい運動会の充実

毎年、地区を変え小学校を会場に年代、障がいの有無に関わりなく交流し、お互いに何かを感じ取ってもらおうと、ボランティア連絡会が主催し行った。そして今年で市内10校全ての小学校で運動会を実施することができた。

【6月14日】 菅山小学校体育館 62人 4福祉施設

③ボランティアコーディネート体制の充実

ボランティア活動者への情報提供や地域との連携を図るよう努めた。

★評価

ふれあい運動会は10年かけて10カ所の小学校を実施することができた。会場によっていろいろな協力があるため、今後もボラ連と一緒に運営していきたい。

エコキャップについては、かなり市民に浸透している。学校等教育の場だけでなく、個人の方も集めて持ってきてくださったりしている。

★課題

ふれあい運動会と福祉施設交流会は参加者がほぼ同じで、内容も同じようなことを行っている。統一するなど検討が必要と思われる。

エコキャップなど収集の情報は広まったが、シールをはがすなどのルールが守られていないところもあるため、情報提供を徹底していきたい。また、今まで回収してくれていた業者が撤退したため、次の業者をさがさなければならない。

(3)地域資源の確保・活動推進

①ふれあい・いきいきサロン事業の充実(40サロン)

各区でのふれあい・いきいきサロン事業の充実及び支援を図った。それによって、地域住民と高齢者等との交流が活発になった。

区分	相良区	福岡区	地頭方区	波津区第2ブロック	新庄区
名称	生き生きクラブ	生き生きクラブ	はつらつクラブ	ほのぼの会	憩いクラブ
開設年月	平成9年6月	平成9年6月	平成10年6月4日	平成11年7月4日	平成11年9月8日
開催日	毎月1回 第1月曜日	毎月1回 第3月曜日	毎月2回 第1・3木曜日	毎月1回 第1日曜日	毎月1回 概ね15日
開催時間	13:00～15:30	13:00～15:30	13:30～15:30	9:30～11:30	13:30～15:00
場所	相良区コミュニティ 防災センター	相良区コミュニティ 防災センター	地頭方区公民館	波津区公会堂、波津コ ミュニティーセンター	トーク地頭方
対象者	相良区・福岡区 及び近隣地区の 概ね70歳以上の 方	相良区・福岡区 及び近隣地区の 概ね70歳以上の 方	区内に移住する 概ね80歳以上の 方	75歳以上又は若 くて引きこもりの 方	区の高齢者
延参加者	284人	278人	276人	341人	348人
延協力員	149人	169人	192人	40人	71人
代表	西尾 仁男	増田 秀雄	櫻井壽恵男	小澤 幸吉	松下英津子

区分	波津区第1ブロック	大沢区	白井区	須々木区	片浜区
名称	にこにこ会	もんじゅの会	いきいきサロン	お元気クラブ	ふれあいクラブ
開設年月	平成11年9月19日	平成11年10月8日	平成11年12月16日	平成12年4月7日	平成12年8月22日
開催日	毎月1回 第3金曜日	毎月1回 第3金曜日	毎月1回 第3木曜日	毎月1回	毎月1回 15日
開催時間	13:30～15:00	13:30～15:30	13:30～15:30	13:30～15:30	9:00～11:30
場所	静和会館	大沢公民館	白井公民館	須々木区区民館	片浜防災セン ター
対象者	概ね70歳以上の 方	概ね65歳以上の 方	60歳以上の方	区の70歳以上の 方	区の高齢者
延参加者	175人	178人	307人	203人	207人
延協力員	53人	84人	53人	136人	87人
代表	松下 全代	牧野 祐子	中田 かおる	西川 宣男	森田 昇

区分	波津区第3ブロック	西萩間区	大江区	菅山区	牧之原区
名称	ほほえみ会	子生まれクラブ	大海老会	油会クラブ	茶の実クラブ
開設年月	平成12年8月30日	平成12年9月15日	平成13年3月	平成13年3月	平成14年2月26日
開催日	毎月1回 30日	毎月1回 第3水曜日	毎月1回 第1木曜日	毎月1回 20日	毎月1回 第3火曜日
開催時間	9:00～11:30	13:00～16:00	13:30～15:30	13:30～15:30	13:30～15:00
場所	波津区公会堂	西萩間公民館	大江区民会館	菅山区公民館	牧之原区民センター
対象者	概ね65歳以上の方	概ね65歳以上の方	概ね70歳以上の方	区の高齢者	65歳以上の方
延参加者	112人	222人	439人	246人	276人
延協力員	79人	33人	67人	148人	107人
代表	羽田 智行	齊藤 勝幸	今村 博至	川田 清一郎	松下 虎夫

区分	遠渡区	豊岡区	落居区	東萩間区(上)	東萩間区(下)
名称	サンサンクラブ	いきいきサロン豊岡	落ち合いサロン	笑和クラブ	いきいき東
開設年月	平成14年5月26日	平成14年5月29日	平成14年9月30日	平成14年10月11日	平成14年10月11日
開催日	毎月1回 第1日曜日	毎月1回 15日	毎月1回	毎月1回 第2水曜日	毎月1回 第3火曜日
開催時間	13:00～15:00	13:30～15:00	13:30～15:30	9:00～12:00	9:00～11:30
場所	遠渡公民館	豊岡公民館	落居公民館	東萩間上公民館	東萩間下公民館
対象者	区の高齢者	概ね65歳以上の方	概ね65歳以上の方	概ね70歳以上の方	概ね75歳以上の方
延参加者	288人	251人	382人	135人	262人
延協力員	124人	48人	72人	42人	36人
代表	松下 律子	小川 弘廣	植田 利夫	澤村 章二	鈴木 明美

区分	中里区	神寄区(大寄)	神寄区(女神)	波津区第4ブロック	勝間田区
名称	にっこりサロン	大の字クラブ	すこやかクラブ	ハッピークラブ	ほがらかサロン
開設年月	平成15年1月	平成15年1月	平成15年1月	平成15年7月1日	平成11年5月
開催日	毎月1回 第2金曜日	毎月1回 第4水曜日	毎月1回 第2金曜日	毎月1回 第1火曜日	毎月4回 毎週木曜日
開催時間	13:30～15:00	13:30～16:00	13:30～15:30	10:00～12:00	9:00～11:00
場所	萩間公民館	大寄公民館	女神公民館	大原公民館	勝間田会館
対象者	概ね65歳以上の方	概ね60歳以上の方	概ね65歳以上の方	65歳以上の方	65歳以上で健康な方
延参加者	144人	181人	228人	179人	2,247人
延協力員	40人	58人	41人	43人	312人
代表	稲見 敏	中西 智之	川田 良美	栗山 清	大関 小佳枝

区分	静波区	川崎区	坂部区	細江区	勝間田区
名称	すこやかサロン	仁田スマレ会	坂部ふれあいサロン	はつらつサロン東福	サロンマカミ
開設年月	平成13年5月	平成13年11月	平成14年4月	平成14年6月	平成14年9月
開催日	毎月2回 第1・3火曜日	毎月1～2回 第2日曜日	毎月3回 第1・2・3金曜日	毎月1回 第2火曜日	毎月1回 第1土曜日
開催時間	9:30～11:30	9:00～11:00	9:00～11:30	9:30～11:30	9:00～12:00
場所	老人福祉センター	仁田公民館	坂部区民センター	東福田公会堂	間上老人憩いの家
対象者	65歳以上の方	65歳以上の高齢者	65歳以上の元気な方	町内会高齢者	80歳以上の方
延参加者	254人	126人	1,399人	154人	173人
延協力員	89人	96人	384人	44人	11人
代表	大石 美春	永田 政子	吉添 悦子	大井 照恵	鈴木 常夫

区分	川崎区	細江区	静波区	細江区	静波区
名称	橋向さくら会	時ヶ谷サロン	サロンのぞみ	東慶林ふれあいサロン	ふれあいサロン3丁目
開設年月	平成15年10月	平成19年12月	平成20年2月	平成20年7月	平成20年4月
開催日	毎月1回 第4水曜日	毎月1回 第3月曜日	毎月2回 第2・4水曜日	毎月1回 第1木曜日	毎月1回 第4水曜日
開催時間	13:00～15:30	9:30～11:30	13:30～15:30	10:00～11:30	10:00～12:00
場所	橋向公民館	時ヶ谷公民館	静波コミュニティ防災センター	東慶林コミュニティセンター	3丁目公会堂
対象者	65歳以上の一人暮らし世帯(障がい者)と70歳以上の高齢者	時ヶ谷町内70歳以上の居住者	65歳以上の方	町内会の65歳以上の方	町内会の65歳以上の方
延参加者	441人	264人	282人	230人	187人
延協力員	83人	53人	80人	98人	22人
代表	柴本 榮	原川 正志	大石 カヅミ	八木 明美	八木 末子

区分	細江区	川崎区	牧之原区	静波区	静波区
名称	堀の内草の実サロン	サロンひまわり	まきのはらいいき教室	凜・百花春サロン	はつらつ会
開設年月	平成21年2月	平成23年8月	平成8年6月	平成26年4月	平成18年4月
開催日	毎月1回 第3火曜日	毎月1回 第3水曜日	毎月4回 第1～4火曜日	毎月1回 第2木曜日	毎月2回 第1, 3金曜日
開催時間	13:30～15:30	13:30～15:30	9:00～12:00	10:00～11:45	9:30～11:30
場所	堀之内研修センター	仁田公民館	牧之原区コミュニティセンター	11丁目公民館・中川自宅	さざんか1階ホール
対象者	町内会の高齢者	仁田在住の65歳以上の方	区内65歳以上の方	静波区の幼児からお年寄りまで他世代	区内65歳以上の方
延参加者	177人	141人	959人	183人	630人
延協力員	42人	18人	70人	33人	90人
代表	飯田 正人	大杉 芳枝	原田 松男	中川 松枝	水野 多津枝

サロン数 40サロン 延べ参加者数 13,789人 延べ協力員数 3,497人

②サロン事業連絡会の開催

牧之原市内のサロン事業の推進を目的にサロン事業連絡会を開催し、各地域のサロン代表者間の交流を行い意見交換を行った。

【4月14日】	相良総合センターい～ら	38人
【12月15日】	相良総合センターい～ら	41人

③サロン作品展の開催

2月23日～3月4日の期間相良総合センターい～らエントランスにてサロン作品展を実施した。12サロンが出展し、26年度の活動で取り組んだ作品の提示や活動紹介を行い、地域の方への啓発をした。

★評価

サロン活動は2カ所が新規登録をした。他にも声かけしているところもあり、今後も広がっていく活動であると考えている。

★課題

サロン活動については、協力員不足や高齢化が問題となっており、新規ボランティアの獲得を講座やロコミなどで行う必要性を感じる。

3. 助け合い・支え合いの仕組みづくり

(1)市民参加型の証地域福祉活動の推進・支援

①地区代表者連絡会の開催

各地区相互の情報交換や地域福祉活動の活性化と促進を図ることを目的として、地区代表者による連絡会を開催した。

【7月31日】	相良総合センターい～ら	75人
講演	「地域の気づきを支援につなげる仕組み」 ～社協や福祉専門職との連携を進めるために～	
講師	日本社会事業大学社会福祉学部福祉計画学科 専任講師 菱沼 幹男氏	

②福祉施設交流会の充実(8施設)

市内8施設の通所者を中心にパン食い競争やオルガン演奏など、施設の枠を超え交流会を行いました。

【9月12日】	相良総合センターい～ら	241人
---------	-------------	------

★評価

地域福祉活動計画を策定したことで、昨年に引き続き菱沼先生にご講話いただいた。地区のみなさんにも策定の意味を伝えられたことは大きかった。

施設交流会は毎年ケガもなく、参加者が和気藹々と交流できている。

★課題

地域の役員は任期で交代するため、地域の重要性について毎年話をする機会を設けるようにしたい。また、アウトリーチにより情報を収集する機会も設けたい。

施設交流会が9月開催のため、小中高校生の参加ができない。開催日の検討を行いたい。

(2)生活困窮世帯等への支援ネットワーク体制の強化

①日常生活自立支援事業(権利擁護事業)

判断能力が十分でない方が、できるだけ住み慣れた地域で自立して生活できるように、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理を実施した。

【専門員の配置】 4人(兼務)

【生活支援員の配置】 8人

【相談及び契約件数】

区 分	本事業の利用に関するもの				その他	合 計
	認知高齢者	知的高齢者	精神障害者	その他		
相談件数	285	131	142	93	0	651
契約締結件数	2	0	0	2	0	4
実働件数	5	5	3	2	0	15

②県生活福祉資金貸付事業

種 類	貸付限度額	区 分	現年度貸付額	過年度貸付額	償還額	繰越滞納額
福祉資金	580万円以内	金額	864,000	1,065,000	1,410,985	518,015
		件数	1	4	3	5
緊急小口資金	10万円以内	金額	50,000	1,150,000	521,330	678,670
		件数	1	13	4	13
教育支援資金	50万円以内	金額	0	19,733,800	9,588,250	10,145,550
		件数	0	13	7	13
不動産担保型生活資金	月30万円以内	金額	0	0	0	0
		件数	0	0	0	0
総合支援資金	60万円以内	金額	0	11,841,273	2,862,413	8,978,860
		件数	0	27	12	27
臨時特例つなぎ資金	10万円以内	金額	0	170,000	35,000	135,000
		件数	0	2	1	2
合 計		金額	914,000	33,960,073	14,417,978	20,456,095
		件数	1	59	27	33

③市福祉資金貸付事業

種 類	貸付限度額	区 分	当年度分				過年度分				欠損額	残高
			貸付額	償還額	未償還額	滞納額	未納残額	償還額	未償還額	滞納額		
一般資金	10万円以内	金額	615,000	434,000	20,000	161,000	583,250	45,000	0	538,250	0	719,250
		件数	13	10	1	2	9	3	0	7	0	10
高額療養資金	100万円以内	金額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護保険資金	20万円以内	金額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		金額	615,000	434,000	20,000	161,000	583,250	45,000	0	538,250	0	719,250
		件数	13	10	1	2	9	3	0	7	0	10

※利率は資金の種類によって無利子から年3%、償還期間は2ヶ月から20年以内とする。

★評価

生活困窮相談として受付し、貸付は支援策の一つという考えのもと、世帯の本当の問題点を把握し自立が見込める対象者に資金貸付を実施した。

各関係機関の連携ができたため、問題解決等がスムーズに対応できた。また、相談者を必要な支援へとつなぐだけでなく、フォローしていくことで自立へとつながる支援ができた。また、社協が間に入ることで、地域の理解、信頼の和が広がった。

★課題

貸付については長期間滞納者への償還指導を根気よく継続していく必要がある。

家族形態の変化で身寄りのない高齢者やひとり暮らし高齢者、また精神障害者の在宅生活の増加が予想される中、益々の事業の需要が高まるとされる。そういう状況化で事業が肥大化しないためにアセスメントをとり、本当に必要とする相談者を事業に繋げていく必要がある。今後は事業の必要性を充分話し合い相談者の生活状況にあった支援ができるようにしたい

(3) 社会福祉協議会の組織体制の充実・強化

① 社協会費(単位:口)

普通会費(1口300円)	特別会費 (普通団体・個人1口1,000円) (特別団体 1口5,000円)	賛助会費(1口5,000円)
11,770口	1,000円 189口 5,000円 5口	200口
3,531,070円	214,000円	1,000,000円
合計 4,745,070円		

② 理事会・評議員会・監査会の開催

会議名	開催日	場 所	出席者	主 な 議 事
第1回監査	26.5.19	相良総合センター い〜ら	2/2	平成25年度決算監査 1.事業報告 2.会計経理・資産管理 3.法人組織・運営
第1回理事会	26.5.28	相良総合センター い〜ら	10/10	1.評議員の同意 2.平成25年度事業報告の認定 3.平成25年度一般会計収支決算認定 4.会長の職務代理者 (報告1)平成26年度ウェブサイト 使用同意書及び賃貸契約書
第1回評議員会	26.5.28	相良総合センター い〜ら	18/21	1.理事の選任 2.平成25年度事業報告の認定 3.平成25年度一般会計収支決算認定 (報告1)平成26年度ウェブサイト 使用同意書及び賃貸契約書
第2回理事会	26.6.3	相良総合センター い〜ら	7/10	5.牧之原市社会福祉協議会事務局長の任免

四半期分伝票確認監査	26.7.23	相良総合センター い〜ら	2/2	平成26年度四半期分伝票確認監査
第3回理事会	26.8.4	相良総合センター い〜ら	10/10	6.給与規程の一部改正 7.給与細則の一部改正 8.役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正 9.平成26年度一般会計補正予算(案)(第1回) 10.相良デイサービスセンター改修工事
第2回評議員会	26.8.5	相良総合センター い〜ら	18/21	4.給与規程の一部改正 5.給与細則の一部改正 6.役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正 7.平成26年度一般会計補正予算(案)(第1回) 8.相良デイサービスセンター改修工事
第4回理事会	26.10.28	相良総合センター い〜ら	10/10	7.給与細則の一部改正
第2回監査	26.11.19	相良総合センター い〜ら	2/2	平成26年度前期分監査 1.事業報告 2.会計経理・資産管理 3.法人組織・運営
第5回理事会	26.12.1	相良総合センター い〜ら	9/10	11.定款の変更 12.給与規程の一部改正 13.給与細則の一部改正 14.嘱託職員の月額給料表の一部改正 15.経理規程の全部改正 16.生活困窮者自立相談支援事業 17.生活支援サービス事業 18.相良デイサービスセンター改修工事入札契約締結の承認 19.平成26年度一般会計補正予算(案)(第2号)
第3回評議員会	26.12.1	相良総合センター い〜ら	17/21	9.定款の変更 10.給与規程の一部改正 11.給与細則の一部改正 12.嘱託職員の月額給料表の一部改正 13.経理規程の全部改正 14.生活困窮者自立相談支援事業 15.生活支援サービス事業 16.平成26年度一般会計補正予算(案)(第2号)
四半期分伝票確認監査	27.2.18	相良総合センター い〜ら	2/2	平成26年度四半期分伝票確認監査

第6回理事会	27.3.25	相良総合センター い〜ら	10/10	20.事務局長の派遣 21.定款の変更 22.就業規程の一部改正 23.給与規程の一部改正 24.給与細則の一部改正 25.正規職員登用規程の一部改正 26.マイクロバス使用規程の全部改正 27.一般会計補正予算(案)(第3回) 28.平成27年度ウェブサイト使用同意書及び賃貸契約書 29.平成27年度事業計画(案) 30.平成27年度一般会計予算(案)
第4回評議員会	27.3.25	相良総合センター い〜ら	13/21	17.定款の変更 18.就業規程の一部改正 19.給与規程の一部改正 20.給与細則の一部改正 21.正規職員登用規程の一部改正 22.マイクロバス使用規程の全部改正 23.一般会計補正予算(案)(第3回) 24.平成27年度ウェブサイト使用同意書及び賃貸契約書 25.平成27年度事業計画(案) 26.平成27年度一般会計予算(案)

★評価

理事会の開催回数を増やし、様々な課題に対し検討した。

★課題

理事の研修(法人事業所内視察)がインフルエンザの流行時期と重なり実施できなかったため、今後は早めに計画を立てる。

③雇用促進への取り組み

障がい者の方が就労しやすい環境づくりに勤め、役割をつくることで就労しやすくした。また、藤枝特別支援学校の実習などの受入を行った。

★評価

障がい者の雇用ができた。少しでも障がい者の方が働きやすい環境づくりができたためと考えている。

★課題

専門職や資格を必要とする社協職なので、資格が必要な部署では雇うことが難しい。また、吉田高校跡地に新しい特別支援学校が出来たので連携を取っていきたい。

4. 介護保険事業

①介護保険事業の経営

介護保険事業として、①訪問介護事業(ホームヘルプサービス) ②居宅介護支援事業 ③通所介護事業(デイサービス)の3事業を経営している。今後も地域福祉事業への繰入や、社協運営費補助金の減額が予想されるため、経営体制の見直し等を含め経費節減に一層努めた。

5. 共同募金事業の実施

赤い羽根共同募金は、民間の運動として終戦直後の1947年(昭和22年)に、市民が主体の取り組みとしてスタートした活動です。みんなで集めた募金は、自分のまちを良くする活動に使われています。市民自らの行動を応援する募金活動です。

一般募金(募金期間:10月1日～12月31日)

種 別	金 額	備 考
戸別募金	3,757,600 円	11,763世帯
法人募金	1,586,500 円	474法人
街頭募金	12,020 円	ふれあい広場
学校募金	61,121 円	8小学校、3中学校
職域募金	42,912 円	市役所・静岡銀行・社協
その他の募金	16,952 円	区コミュニティセンター等
合 計	5,477,105 円	

歳末たすけあい募金(募金期間12月1日～12月31日)

種 別	金 額	備 考
戸別募金	977,500 円	11,763世帯
合 計	977,500 円	

★評価

民生委員児童委員の皆様方が市内事業所への募金活動、各法人、職域の方々の事業へご賛同、ご理解をいただき多くの募金が集まりました。募金は給食サービスやふれあい広場など、多くの地域福祉事業に使わせていただきました。また、子ども達の思い、活動が、社会貢献につながる理解を深めた。

★課題

年々募金額が減少している。地域の皆様のご理解また新たな事業所や職域の開発の必要性を感じている。

6. 福祉団体等の支援

(1)社会福祉協議会は下記福祉団体等の事務及び補助を行っております。

- ①牧之原市シニアクラブ連合会
 - ・シニアクラブ相良支部
 - ・シニアクラブ榛原支部
- ②牧之原市身体障害者福祉会
- ③牧之原市手をつなぐ育成会
 - ・青年学級
 - ・ひまわり会
- ④牧之原市遺族会
 - ・遺族会相良支部
 - ・遺族会榛原支部
- ⑤牧之原市ボランティア連絡会

(2) 社会福祉協議会は下記福祉団体等へ補助を行っております。

- ① 牧之原市子ども会連絡協議会
- ② NPO法人精神保健福祉みどり会
- ③ 榛原地区相良更生保護女性会
- ④ 榛原地区榛原更生保護女性会
- ⑤ 榛南断酒会
- ⑥ 榛原地区保護司会相良支部
- ⑦ 榛原地区保護司会榛原支部
- ⑧ 法務省榛原保護区榛原地区保護司会
- ⑨ 明るい社会づくり運動静岡県牧之原市地区協議会(相良地区)
- ⑩ 明るい社会づくり運動静岡県牧之原市地区協議会(榛原地区)